



「3DS」データの取り込み方法

3DS・POL・OSXデータの取り込み方法

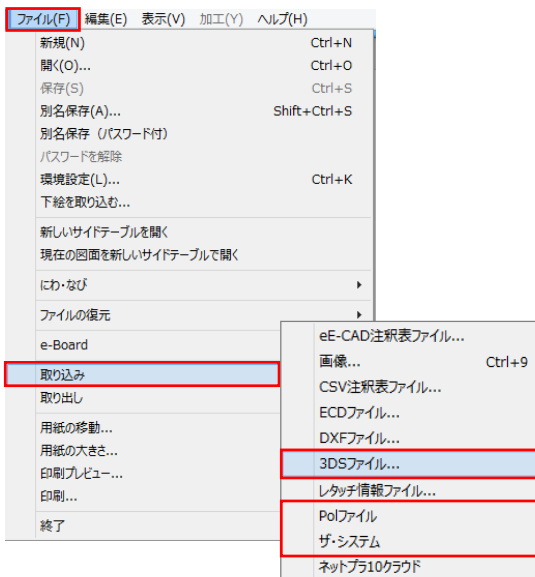
3DS・POL・OSXデータをオーセブンCADに取り込む方法です。

データを開く方法

1 ファイルを開く

1-1：ファイルメニューから取り込み→3DSファイルを選択します。

※取り込み出来ない図形は表示されません。



Polファイル⇒ Polデータを取り込みます。
ザ・システム⇒ OSXデータを取り込みます。

2 設定の確認

2-1：倍率と図形方向の設定をします。
※取り込んだ後、図形がおかしい場合は、再度取込設定を行なう必要があります。

2-2：取り込みたい図形が3D図形欄で○になっていることを確認します。
敷地など取り込み不要なデータは「○」をクリックして「-」にしておきます。

2-3：2D変換で基礎部分の図形が表示されるように「-」をクリックして「○」にしておきます。

2-4：OKボタンをクリックします。

2-5：CADで作図した図形と位置を調整します。



テクスチャの割当て

※元データでクラスを割当てされていない場合、パースが表示された時にテクスチャが貼られていない事があります。

クラス名をクリックすると該当する図形が左上の「3D図形」で赤く表示されます。

クラス名は取り込もうとしているデータのクラス情報一覧です。

【階層の割当て】

3Dと2D図形はシンボルとしてユニットレイヤに取り込まれます。補助線は補助線レイヤに取り込まれます。

3-1 ファイル名：

取り込もうとしている3DSデータのファイル名です。

3-2 3D図形取込：取り込もうとしている3D図形が表示されます。

3-3 2D図形取込：取り込もうとしている2D図形が表示されます。

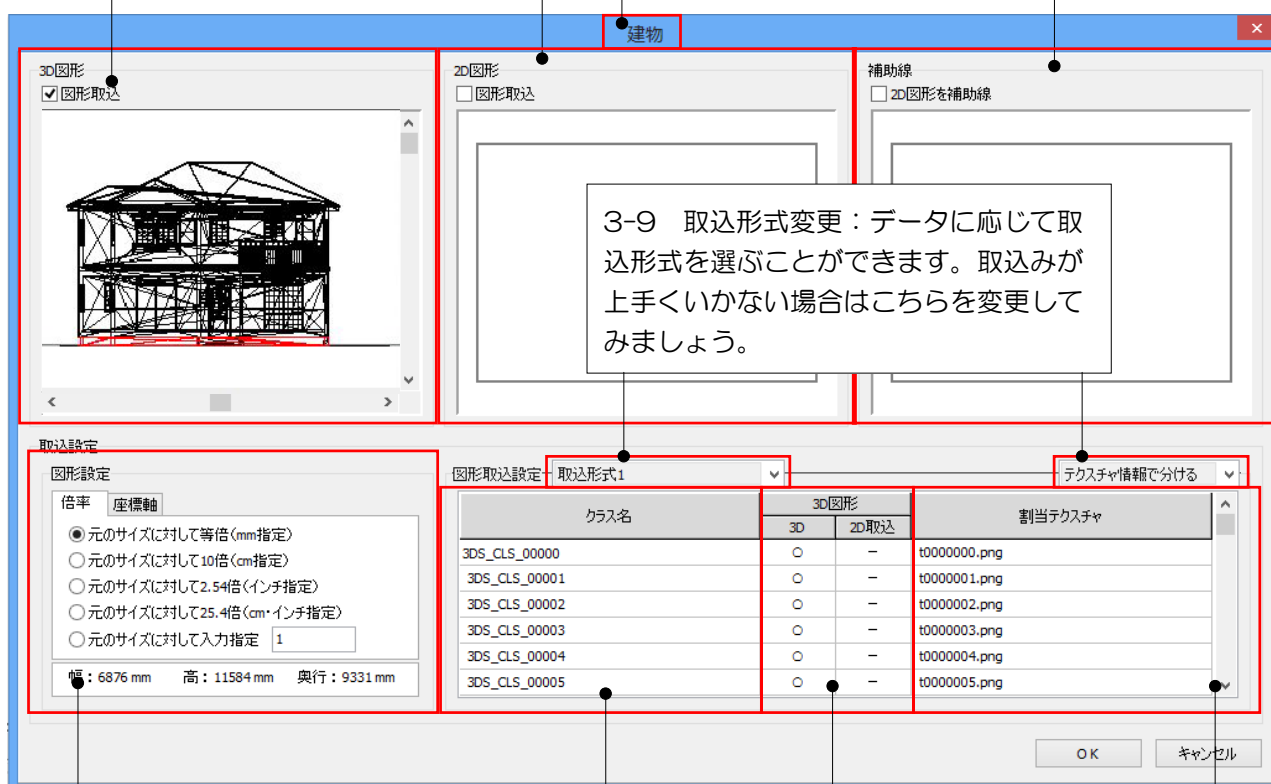
3 取り込み画面説明

3DS取り込み設定の概要を説明します。



各機能の詳しい操作説明は次ページから始まります。

3-4 補助線：取り込もうとしている2D図形を補助線として取り込む時に使用します。



3-5 図形設定：
単位・縮尺・向きの設定です。

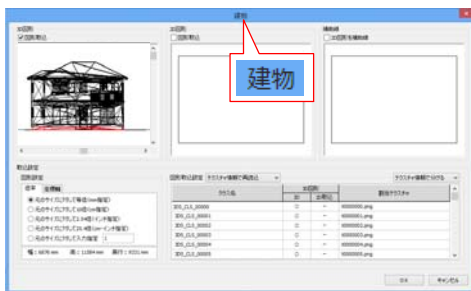
3-7 3D図形：3Dと2Dそれぞれ取り込む図形をクラスごとに指定できます。

3-6 クラス名：
取り込もうとしているクラスの一覧です。

3-8 割当テクスチャ：
それぞれのクラスに割り当てられるテクスチャの一覧です。

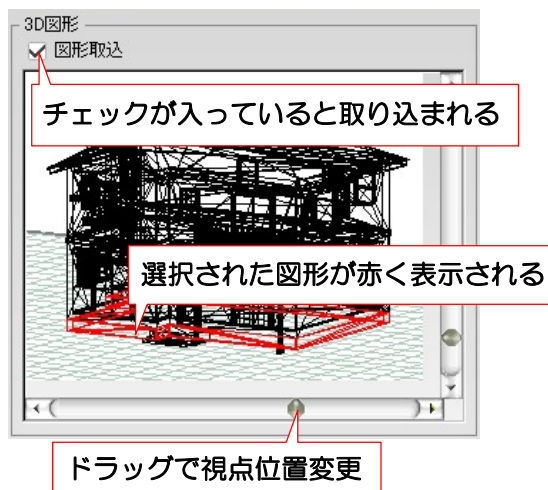
**【変更の可能な箇所】**

3-5図形サイズ 3-6クラス名 3-8割当テクスチャはこの画面で変更することは出来ません。取り込んだ後eE-CADの機能で変更可能です。



4-1 ファイル名

取り込もうとしている3DSファイルの名称が表示されます。



4-2 3D図形取込

図形取込にチェックが入っていると3D図形が取り込まれます。

下と右についているスクロールバーをドラッグすると視点位置が変更されます。



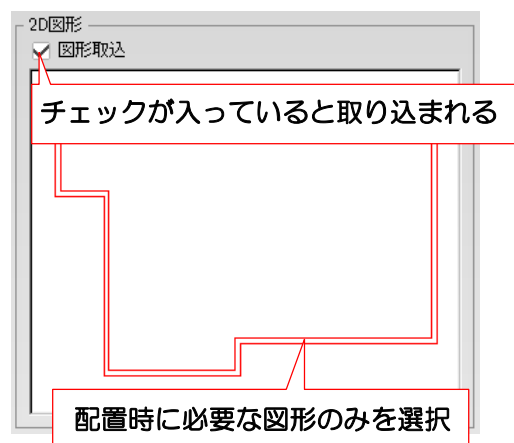
3-6・7・8で選択されている図形が赤く表示されます。

下と右についているスクロールバーをドラッグすると視点位置が変更されます。



【必要なデータだけを取り込む】

建物の内観や家具等、細部まで作成されているデータを取り込む場合、その全てを取り込んでしまうとデータ量が多くなり、動作に影響します。必要最小限の図形のみを取り込んで使用してください。



4-3 2D図形取込

図形取込にチェックが入っていると2D図形が取り込まれます。

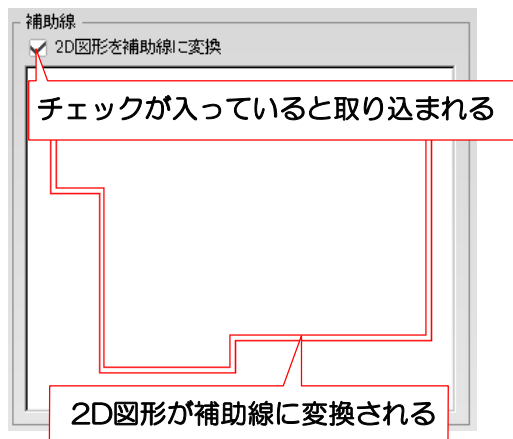
チェックが入っていない時は2D図形は矩形の表示になります。

3-7で2Dに変換する図形を選択します。



【配置しやすい図形だけを取り込む】

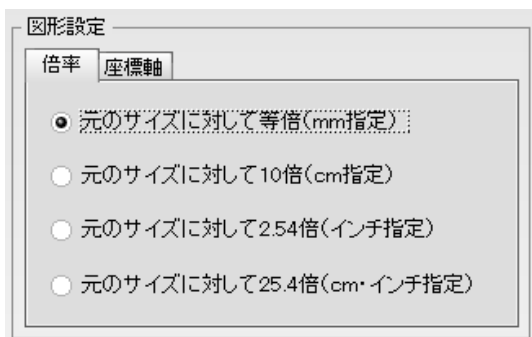
2Dの取り込みは、基礎やポーチ勝手口など配置時にわかりやすい図形のみを取り込んで下さい。



4-4 補助線

2D図形を補助線に変換にチェックが入っていると2D図形が補助線に変換されます。

2Dと同じ形の補助線が作成されます。



4-5 図形設定

倍率：プレビュー画面のグリッド線を目安にして取り込みサイズを調整します。

座標軸：図形の向きが違う場合の調整に使用します。



4-6 クラス名

取り込もうとしているクラスの一覧です。名称の変更はできません。

3D図形	
3D	2D変換
<input type="radio"/>	-
<input type="radio"/>	-
<input type="radio"/>	-
<input type="radio"/>	<input checked="" type="radio"/>
<input type="radio"/>	-

○になっていると取り込まれる

4-7 3D図形

取り込む図形をクラスごとに指定できます。「○」は取り込む「-」は取り込まない図形です。クラス名をクリックすると「4-2」で図形が赤く表示されるので、確認しながら作業します。

3Dと2Dは別々に設定できます。

割当テクスチャ	
tex6.jpg	
tex7.jpg	
tex8.jpg	
tex9.jpg	
mat	3DSから取り込まれる割当テクスチャです
matTUbmp	

4-8 割当テクスチャ

取り込んだ後にCAD上で自動で割り当てられるテクスチャ名の一覧です。
変更はできません。

4-9 取込形式変更

取込形式1
取込形式2
取込形式3
取込形式4

取込形式を変更できます。通常は取込形式1を使用します。
取込が上手く出来ない場合は、取込形式を変更してみましょう。

- 取込形式1：行列変換と移動およびスケール調整・テクスチャ情報でグループ分け
- 取込形式2：行列変換と移動およびスケール調整・テクスチャと図形情報でグループ分け
- 取込形式3：座標の逆行列変換・テクスチャ情報でグループ分け
- 取込形式4：座標の逆行列変換・テクスチャと図形情報でグループ分け

※通常は1の設定を選びます。

※図形の形状が正しく表示されない→3または4を選ぶと正しく読込出来る場合があります。

※グループが分かれているはずなのに全部が1つのグループになってしまう

→2または4を選ぶと正しく読込出来る場合があります。

テクスチャ情報で分ける
図形情報で分ける

テクスチャ情報で分ける：

テクスチャ情報を元にグループ分けをします。通常はこちらの設定にします。

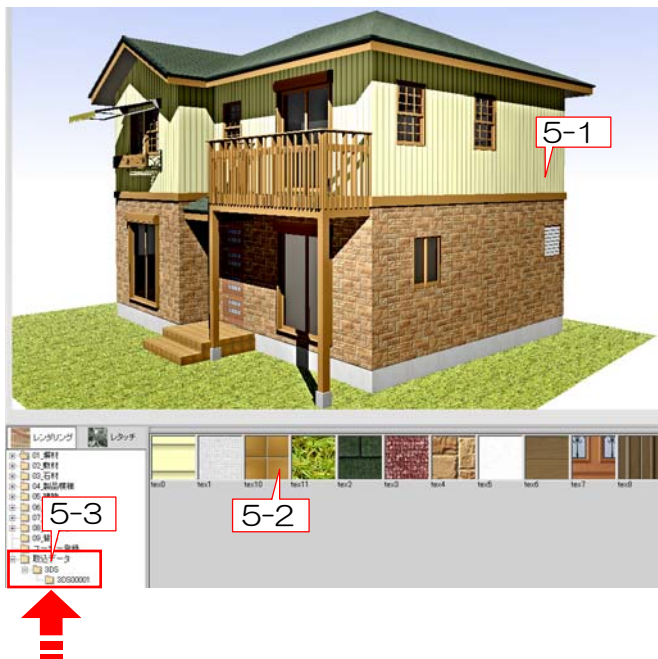
図形情報で分ける：

図形情報を元にグループ分けをします。建物の内観・外観が混同するデータの場合など、選択しやすい状態に分ける事ができます。



【3D取込画面で確認しましょう】

取込形式を変更する場合は、データによっては細かく分かれ過ぎてしまうことがあります。必ず3D取込画面を確認しながら、作業しやすいようにデータが分かれているかを確認してから取り込むようにしましょう。



5 テクスチャデータの管理

5-1：eE-Painterの起動時に、外部データのテクスチャ情報が割り当てられます。

※取り込み出来ないデータは青色に表示されます。

5-2：テクスチャ情報は5-3取り込みデータ→3DSフォルダ内に表示されます。

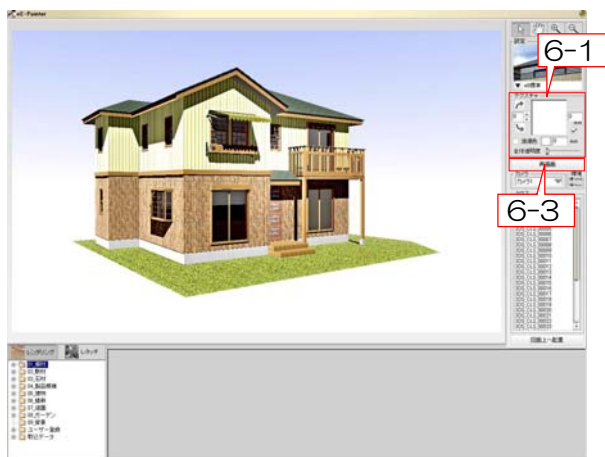


テクスチャの向きやサイズが違う場合は6のテクスチャの調整方法を参照してください。

外部データのテクスチャ情報は、eE-Painterのフォルダ内に取り込まれます。

【CADバージョン10以前の方は…】

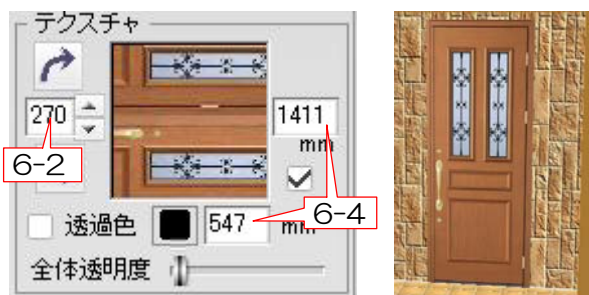
同じデータを取り込んだことが無いPCではテクスチャが貼られず青色で表示されます。再度3DSの取り込みをすることでテクスチャが貼られた状態で表示されます。



6 テクスチャの調整方法

6-1：テクスチャ角度の調整方法です。eE-Painterを起動し、編集したいテクスチャが貼られている図形をクリックすると6-1にそのテクスチャが表示されます。

6-2：角度の数値を入力します。6-2の欄に数値入力した後6-3の再描画ボタンをクリックすると角度が変更されます。



6-3：テクスチャのサイズが合っていない場合の調整方法です。6-4の欄に数値を入力することでサイズの変更ができます。1つの図形に対して1枚のテクスチャを繰り返す無しで貼り付けたい場合、数値に0を入力すると図形いっぱいテクスチャが貼り付けられます。